

## 2019 年度実施概要

学校名

関西大学北陽高等学校

採択活動名

アマモで繋がる人と海

取り組みの概要

NPO 法人環境教育技術振興会／NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター及び阪南市立西鳥取小学校と「アマモ場再生」プログラムを継続的に行う。

1) 大阪湾について学ぶ：生き物調査、大阪湾現地調査、シュノーケル実習、海の安全教室（はんなん里海公園（大阪湾）にてNPO 法人環境教育技術振興会／NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センターご指導のもと実施）に参加し大阪湾の現状を学ぶとともに、海の自然に親しみ海に関わろうとする意識を高める。

2) 『出前授業』の実施：自ら調査した大阪湾の状態やアマモ場の機能を分かりやすく伝える。高校生が主催する学習会を開催。多くの人に「アマモ場の役割・再生」を普及する。

4) 地域との繋がり：情報発信、環境保全啓発。シュノーケル実習、海の安全教室受講後、学習した内容を地域のイベントで指導し海洋教育普及活動を行う。

5) 保健授業：単元3『社会生活と健康』 環境問題についての知識を深める①「大気汚染」「土壌汚染」「水質汚濁」の原因と関わり、地球規模の環境問題、環境汚染の防止と対策について学ぶ。②海洋問題が様々な環境問題と繋がっていること学び、海洋環境保全の取り組みが身近であることを理解する。③グループワーク（調べ学習、プレゼンテーションを実施し知識の定着と海洋教育の担い手の育成に取り組む）

6) 修学旅行『環境学習』：大阪湾と沖縄の海について学び海洋環境保全の必要性とその方法を理解する。大阪湾、沖縄の海で行われている海洋環境保全対策について調べる。アマモとマングローブの役割について学ぶ。海洋問題が身近なものであることを理解し自分たちにできることを考えさせる。②沖縄の自然に触れながら、海が繋がっていることを理解させ海洋環境保全の意識を高める③フィールドワーク  
海洋環境保全の体験：未来に美しい海を残すための取り組みとしてマングローブの植樹を行う。

7) 活動報告会：「アマモサミット参加」「G20 大阪サミット 配偶者プログラム」に参加し、自らの考えを発信できる人材を育成する。

活動中の写真

デジタルデータにて2～3枚の添付をお願いします。

実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1. アマモで繋がる人と海

2.

## 活動中の写真



写真1 「出前授業」



写真2 「花枝採取・生き物調査」



写真2 「アマモサミット」